

飯館村の神社が火災！ - 西日本防災システム

2013 04 01

4月1日福島第1原発事故で住民の避難が続く福島・飯館村で、神社と宮司夫婦が住む家が全焼し、焼け跡から1人の遺体が見つかりました。
火災があったのは、**山津見神社**で、午前3時40分頃、宮司夫婦が住む住宅から出火したようです。

火災のあと、宮司の妻(80)の行方がわからなくなっており、警察が身元の確認を急いでいます。

この神社は、原則、住民の宿泊が認められていない、避難指示解除準備区域内でした。

飯館村は東京電力福島第1原発事故で避難区域に指定されていますが、夫妻は、避難生活を送る住民が参拝に来られるよう避難先から神社に通い、最近は区域にとどまり生活していたようです。

同署や県相馬消防本部によりますと、応援で派遣されていた茨城県警の警察官が村内を巡回中に神社が燃えているのを発見したようです。自宅から出火し、神社に燃え移ったとみられています。出火当時、宮司夫婦は自宅で寝ており、ご主人は火事に気づき、逃げて無事でした。警察官が現場に到着した際、ご主人は消火作業をしていたといえます。
御冥福をお祈り致しております。



西日本防災システム
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 